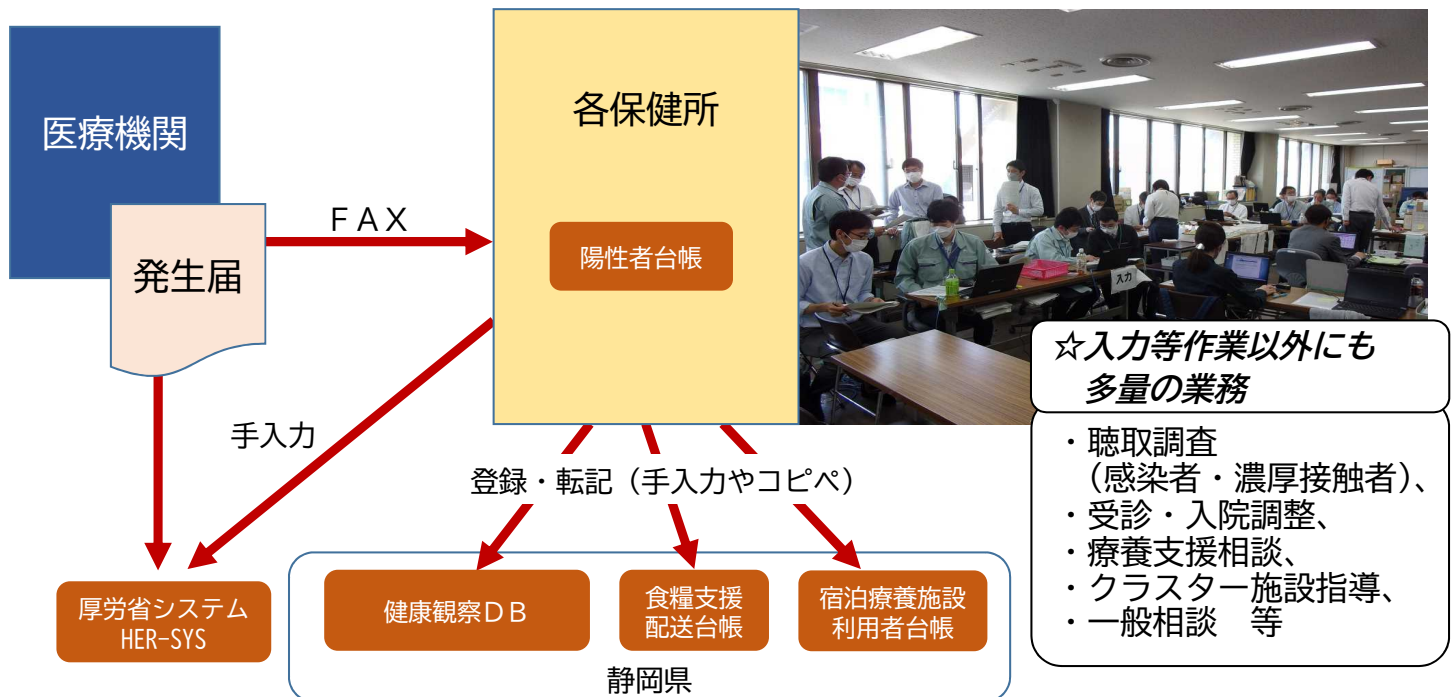


# 新型コロナウイルス感染症対応におけるDXの取組とその効果

## 健康福祉部感染症対策局 新型コロナ対策企画課 新型コロナ対策推進課

従来：「紙・FAX」情報を「人海戦術」で「EXCEL・Word等」入力



### 課題

- ・保健所毎に異なる台帳(情報の持ち方(一部紙ベース))・・・県全体の状況把握困難
- ・健康観察や食糧支援など台帳に転記が必要・・・転記漏れ・誤転記が発生
- ・保健所業務のひっ迫・・・積極的疫学調査や発生届(FAX)のHER-SYS入力に遅延が発生

# 新型コロナ療養者支援センターの設置と情報システムの導入

感染者支援サービスの向上と保健所の負担軽減を図るため、発生届をOCR処理し、陽性者情報を新たに開発した「療養者支援情報システム」で一元管理し、保健所業務を「新型コロナ療養者支援センター」に可能な限り集約

## ●静岡県療養者支援情報システム(metis) (療養者情報の一元化データベース 2022.8.2始動)

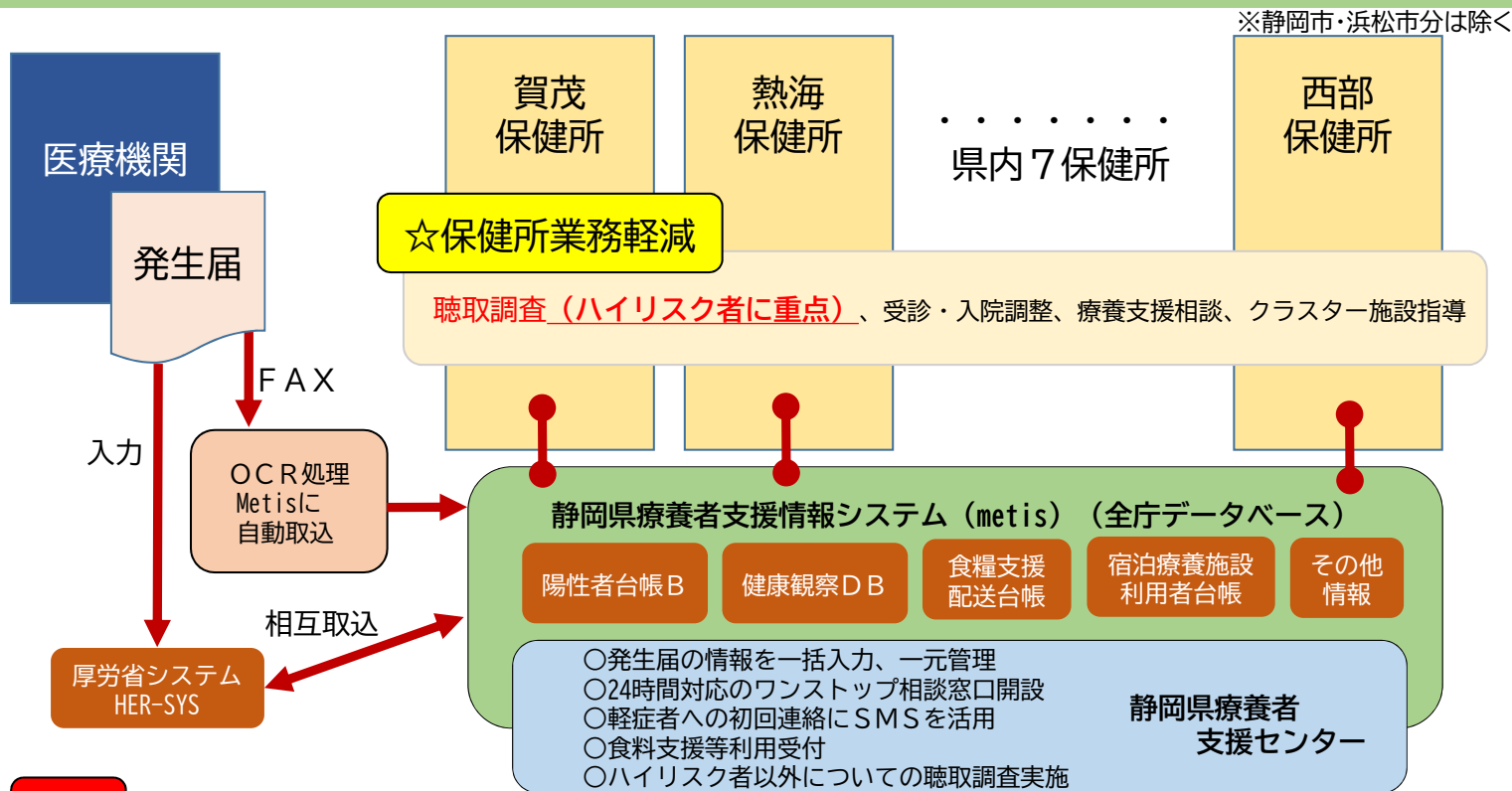
メーティス: Medical Treatment Assist Information System  
ギリシャ神話に登場する「叡智」や「思慮」、「助言」を意味する知性の女神

- ・ **千葉県**が開発したシステムを**静岡県向けにカスタマイズ**
- ・ 陽性者に係る基本情報から健康観察、療養証明書の発行まで**一連の事務処理全てを電子化**

## ●新型コロナ療養者支援センター (県有施設: 三島市) (2022.8.2設置)

- ・ 療養者がいつでも相談できる**ワンストップ窓口(24時間365日)**を開設し、相談や療養証明発行等を受付
- ・ 軽症者への初回連絡に**SMSを活用**
- ・ 陽性者情報の入力等、自宅療養者に関する業務を**保健所から移管し集中処理**

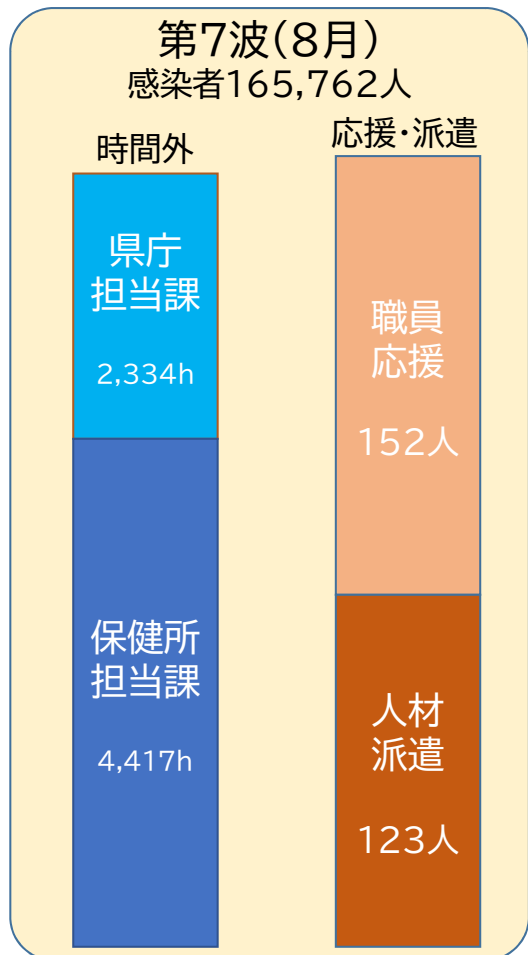
### 改善後: 県全体※の陽性者情報を一元管理



### 効果

- ・ 各保健所の処理状況・ひっ迫状況の把握.....**状況の可視化**
- ・ 情報の一元管理、SMS送信の導入等.....**療養者支援の迅速化**
- ・ 業務の集約化やICTの活用.....**保健所業務の軽減**
- ・ 療養者相談窓口の設置、ハイリスク者の支援強化.....**県民サービスの向上・対応強化**

## 取組の成果



昨夏の第7波（導入前）と今冬の第8波（導入後）を比較すると、時間外は半減、正規職員の応援は無く対応することができた。



## ふじのくに感染症管理センター「情報プラットフォーム」の構築へ

感染症対策の司令塔となる「ふじのくに感染症管理センター」を本年4月県有施設（三島市）内に設置 10年後を見据え、本県の感染症への対応力を強化し、「防疫先進県」を目指していく。

### ○司令塔機能の確保

- ・平時……医療・福祉現場の感染症対応力の底上げ
- ・有事……**感染症対策の司令塔の役割**  
センターの実務責任者が、医療提供体制の維持・確保などについて、一定の権限を持てるような体制を構築

### ○情報プラットフォームの構築

- ・デジタル化により保健所の**感染症対応業務を効率化**
- ・医療機関等との情報共有化と感染状況の分析等のため、**ICTを活用し業務のデジタル化と各種感染症の届出、データ管理を一元化するシステムを構築**

### ○研修の実施

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめ、新興・再興感染症の発生に備え、**保健所応援職員、医療従事者や福祉施設職員向けの研修を実施**
- ・将来的には専門資格を持つ医師や看護師等にも研修を実施



第3回デジタル化・DX推進展  
(5月25・26日:東京ビックサイト)

自治体特別講演において、  
当県の取組みを発表